



『幸多き日々を願い』 Y o s i

1月

1 月 赤口	16 火 大安
2 火 先勝	17 水 赤口
3 水 友引	18 木 先勝
4 木 先負	19 金 友引
5 金 仏滅	20 土 先負
6 土 大安	21 日 仏滅
7 日 赤口	22 月 大安
8 月 先勝	23 火 赤口
9 火 友引	24 水 先勝
10 水 先負	25 木 友引
11 木 赤口	26 金 先負
12 金 先勝	27 土 仏滅
13 土 友引	28 日 大安
14 日 先負	29 月 赤口
15 月 仏滅	30 火 先勝
	31 水 友引

2月

1 木 先負	15 木 赤口
2 金 仏滅	16 金 先勝
3 土 大安	17 土 友引
4 日 赤口	18 日 先負
5 月 先勝	19 月 仏滅
6 火 友引	20 火 大安
7 水 先負	21 水 赤口
8 木 仏滅	22 木 先勝
9 金 大安	23 金 友引
10 土 先勝	24 土 先負
11 日 友引	25 日 仏滅
12 月 先負	26 月 大安
13 火 仏滅	27 火 赤口
14 水 大安	28 水 先勝
	29 木 友引

3月

1 金 先負	16 土 友引
2 土 仏滅	17 日 先負
3 日 大安	18 月 仏滅
4 月 赤口	19 火 大安
5 火 先勝	20 水 赤口
6 水 友引	21 木 先勝
7 木 先負	22 金 友引
8 金 仏滅	23 土 先負
9 土 大安	24 日 仏滅
10 日 友引	25 月 大安
11 月 先負	26 火 赤口
12 火 仏滅	27 水 先勝
13 水 大安	28 木 友引
14 木 赤口	29 金 先負
15 金 先勝	30 土 仏滅
	31 日 大安

新春

インタビュー



聞き手 さわやからいふ顧問 黒田太郎

最高経営責任者 白川秀二

代表取締役社長 出口明美

黒田 皆さま明けましておめでとうございます。今年

のさわやからいふ通信も、毎年恒例となりました、白川代表と出口社長へのインタビューにて幕を開けたいと思います。それでは早速ですが、出口社長に昨年一年間を振り返っていただき、印象的な出来事などがあればお聞かせいただきました

ことです。

黒田 これは意外でした。昨年のインタビューでは、この部門に対する期待が力強く語られていた印象があります。

出口 もちろん大切な部門ですし、意思疎通はビジネスの基盤ですから、今後もしっかり向き合っていきたいと思っていますよ！

黒田 それでは、他の分野はどうだったのでしょうか？

出口 実は、他の分野は総じて順調だったのです。訪問介護、居宅介護、デイサービス、有料老人ホーム、どれを見ても、まずまず良好な数字が上がっていました。

黒田 なんと！既存4分野が順調だったのは、背景にどのようなことがあると考えられるのでしょうか？

出口 昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染

フルエンザ同等の5類に変わりました。このことで、

利用者さんにも動きが出てきましたし、受け入れる我々の気持ちもより明るく前向きになったのだと思います。また、弊社内部では、

社長を中心とした対面でのミーティングも復活させることが出来ました。こういう場があると、良い意見や前向きな意見も出てきますし、横の連携も生まれてきます。さらには、長年にわたり取り組んできた人材育成の成果が出てきた手応えもありました。チームリーダーが中心となりチームプレーを行って欲しいと常々

申し立てましたが、こうした動きが実際に出てきたのです。人手が足りなくても、諦めず弱音を吐かない姿勢が見えるようになり、「厳しく言って辞められたら困る」という雰囲気から、「例え辞める選択をされるとしても、相手のために言うべ

きことを言うおう」という考え方に変わってきました。

黒田 素晴らしい変化ですね。確か昨年はデイサービス部門を心配されていたかと思いますが、良い数字になったのですね。

出口 確かに昨年は数字が出ずに苦戦しましたが、「今はジャンプの前に力をためてかかっている時期」と励まし合っていました。それもあり、少し数字が上向いたことで、チーム全体に勢いが出てきたと見ています。

黒田 さすがです。他にも昨年中に特徴的な動きはありましたか？

出口 コロナ前からお休みしていたヘルパースクールを再開させました。目的はもちろん、ヘルパーさんを増やすことですが、そもそも介護に携わる方を増やしたい、介護の楽しさを多くの人に知っていただきたい、という想いが原点に

あったので、こうした初心に立ち振り返りスクールを再開させていただきました。

黒田 それでは白川代表にも昨年を振り返っていただきたいです。

白川 概ね数字が順調だったというのは社長が言った通りです。その背景として、一つには社長が中心の組織になったことが挙げられるとともに、もう一つ、チームリーダーが軌道に乗ってきたことも挙げられると思います。出口社長とともに思い描いていた組織に、少しずつ近づいているということでしょう。ヘルパースクールが再開されました。社長はこのことを原点返りと表現しましたが、私としては、さわやかチルドレンの育成、と言い換えたいです。意味は同じなのですが、このさわやかからいふならではの人材を育成し、増やし、将来のさわやかからいふを支

えてもらう。このために活動を再開したということですね。また昨年は、書籍を出版することが出来ました。今年弊社が満25歳になるに当たり、これまでの道のりを文字に残したいと思っていましたので、形になり安堵しています。そして形にしてみると、広報上の効果も大きく、様々な方から様々な反応をいただくことができたほか、介護の素晴らしさが見える化されたことで、職員にも良い影響があったのではないのでしょうか。

黒田 出口さんも白川さんも昨年を順調と評価しました。ではそれぞれに今年の抱負をお聞かせください。

出口 部門ごとの自立を完成させたいです。難しい判断や苦情対応も、それぞれの部門で出来るようにしていきたいです。それだけ職員は成長してきていますから。また、部門間の連携、

人手不足の下でのさらなる業務効率化、単価の高低を考慮した業務見直し、さわやかで働きたいと言っているだけけるブランド作り、なども課題ですね。

白川 社長の言葉をあえて補足すると、職員にはもっと成長していただき、社長が本来のマネジメントに集中出来る体制を作りたいですね。数字は表面だけを見ていては不十分です。利益が上がっていても職員が疲弊しては長続きしません。利益が上がっていても職員が輝いていればいずれ伸びてきます。こうした大所高所の視点で組織を分析し、資源を最適配分するのが本来のマネジメント。出口社長がこれをやれば、弊社はもっともって伸びていくことでしょう。

黒田 毎年お二人のお話を伺い、お二人には「現状に甘んじることがない」という共通点があると感じてい

ます。そんなお二人がいるさわやかからいふの、さらなる飛躍を楽しみにしています。ご協力誠に有り難うございます。



左から
黒田太郎
出口明美
白川秀二

問わず語り

伝道ポスターの言葉から

(37)



林河山 明泉寺住職 林川英昭

「問わず語り」とは、だれにも問われることなく自らが話をする事です。お寺の門前には伝道掲示板があり皆さんにメッセージを発信しています。少し足を止めてその言葉を自分なりに味わってみませんか。

「木枯らしに

凍るいのちを

とかす春」

あけましておめでとうございます。毎回、拙文を読んでもいただきありがとうございます。今年もよろしくお願いたします。

この原稿を執筆した時点では、暖冬傾向とのことでした。私の住む福岡県では木枯らし1号が吹き、初雪もありましたが、冬という感じがしない年末となっています。

木枯らしは大陸からの冷たい風なので、雪をもたらし、植物を凍らせ、人間を屋内に閉じ込めます。生き物の活動が鈍くなります。(熊には早く冬眠してもらいたいところです)

人間の心も冷たい風が入ってくれば、その心を閉じてしまいます。風は差別であったり、格差であったり、戦争であったり、人間にとって嫌なものであろうかと思えます。

木枯らしの原因は大陸か

らの冷たい風、寒気団です。心にも冷たい風を起こす原因があります。人間の風の原因は煩惱です。自分の心です。人間にはそれぞれに自己を正当化する心が働きますので、都合により他人を攻撃する、おとしめる働きを発動します。これが冷たい風です。その原因はそれぞれが持つ私心です。煩惱には、三毒といつて3つあり、むさぼりの心(貪欲)とんよく・いかりの心(瞋恚)しんに・仏の心を知らないこと(愚痴)をいいます。このうち、愚痴は「愚痴をこぼす」というように言っても仕方がないことを嘆く意味に使われますが、本来は仏心を知らない、転じて道理に暗いことを意味します。三毒の中でも根本原因とされる煩惱です。

さて、寒さに対して人間はどのように対処するのでしょうか。人間は火を使え

るようになって進化したと言われます。寒さには暖かさを作ることを覚えしました。それともう一つは寒さをしのぐ工夫です。家に入る、厚手の服を着るなどです。

心はどうでしょう。最も効果的なのは心を温かくする、気持ちがよくなることをすることでしょうか。旅行をする、お酒を飲む、みんなでおしゃべりをする？しかし、これらは祭りの後の虚しさで、一過性で終わります。

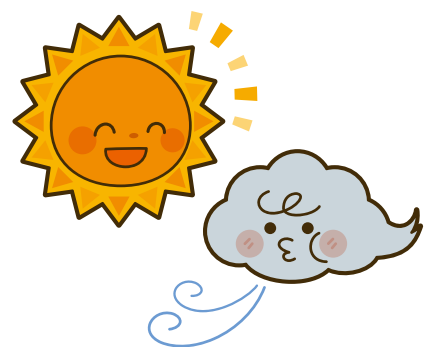
人の中には心を閉ざす人もいます。これはさらに悪い傾向に向いてしまうことがあります。人間は一人では生きていきません。

もっといい方法はないのでしょうか。イソップ物語に『北風と太陽』があります。ご存知だと思うので、結論をいいますと、人の心を開く方法は力業ではなく、ゆつくりと心をほぐす

という方法です。

仏教の智慧は光に例えられます。光がない世界は闇で何もわからないため不安で人を疑います。そこに光がさす、つまり仏の世界を知ること原因が自分であつたと知り、反省をすることで心に向かう風は互いに小さくなっていきます。

「冬来たりなば春遠からじ」、冬を知ることが春を知るようになる。心に温かさをもたらすこととなる。春の偉大さ、光の力強さと安心を感じる表題はそんな言葉かと思えます。



参考文献：大神信章著

『学仏大慈悲心』(探究社)

黒田太郎の政経小話

投資話に気を付けて！

皆さまあけましておめでとうございます。さわやかならぬ顧問、愛知県議会議員の黒田太郎です。年明けから物騒な！と思われるかもしれないませんが、今回は投資被害の話題を取り上げます。多くの皆様に関係するお話だと思っております。きっかけは知人からの相談であり、そのやり取りはYouTubeでも公表していますので、ご興味のある方は私のチャンネルをご覧ください。

流れとしては、
①信頼の置ける知人から投資を誘われる。
②その知人も業者にお金を預けて成功している。
③それならとご夫妻もお金を預けてみる。
④預けた資金が着実に増えているという報告が来る。
⑤ある日その業者は金融庁への登録をしていないことが分かる。
⑥不安に思い解約返金を申し出る。
⑦月に20万円を3か月にわたり返済され途絶える。
⑧どうなっているのかと抗議してものらりくらり。
⑨間に入った知人も訳が分

からず結果として泣き寝入り。



業者なので、金融庁としても行政指導が出来ない相手なのです。

私はこの相談を受け、自分の無力さを痛感するとともに、今の日本に横たわる闇を感じてしまいました。今でこそ学校で投資を教えるようになりましたが、多くの日本人は投資を教わっておらず、まるで博打のようにはやってはいけないものと思っています。しかし最近では「老後二千万円必要」と政府が言いだし、投資が大切だとさかんに言われるようになりました。そう言われてみると、二千万円なんて持っているないし、少子高齢化で年金もどうなるかわからず、銀行に預けても利息は雀の涙より少ないわけ、だったら投資をせねばならないのかと、不慣れな分野に踏み出す方が多いのではないのでしょうか。

こうした状況を一気に改善していくのは難しいです。一つ言えるのは、金融

黒田太郎氏の略歴

一九六七年一月 生まれ
一九九〇年四月 日本銀行入行
二〇〇二年七月 大塚耕平参議院議員秘書
二〇一五年四月 愛知県議会議員（千種区選挙区）



新しい年を迎えて

〽 おもてなしの心とホスピタリティ 〽

J A 愛知厚生連海南病院 名誉院長 山本直人

令和6年の新しき年を迎え、皆様に心よりお慶び申し上げるとともに、今年こそ世界の全ての方々に、平安、平和に溢れた年であるよう祈念申し上げます。

の、とりあえずの辛い時代からは脱却しつつあるのではないだろうか。そのほかにも、地球規模での課題では、ウクライナ侵攻をはじめとする各地での紛争や戦闘という悲しい現実

新型コロナウイルス感染

症の世界的パンデミックに始まり、長い年月の苦しい時間がたちました。昨年には、コロナウイルス感染症も感染症法上の5類分類となり、ようやく段階的にいままでの日常を取り戻しつつあります。コロナウイルスが消えたわけではありませんから、油断はできず、基本的感染対策は必要なも



や、地球温暖化に伴う、環境破壊、気候変動、大規模自然災害など、対応すべき問題は山積でしょうが、人

類は英知を結集し、今年こそより良き方向に進み出すことを心より願う次第です。

今回のコラムでは、人間同士の関係性の原点に立ち返り、おもてなしの心、文化について考えてみたいと思います。おもてなしの心やホスピタリティは、あらゆる場面で考えさせられるものですね。私の現役時代は病院において患者さんや訪れる方々と接する際、また身近なところでは、ご家庭で訪問される方をお迎えする場面もあるかと思いま

す。私は、いまも時々読み返す書籍で、ある企業の方から推薦された一冊の本があります。世界的に有名なおもてなしの素晴らしいラグジュアリーホテルとして知られているリッツカールトンの日本支社長として多くの活動をされ、退社後、2010年からは、人とホスピタリティ研究所を設

立、講演活動などの活動を継続されている高野登氏が書かれた「サービスを超える瞬間」(高野 登著：かんき出版)という書籍には、内容が、前述いたしました有名な、リッツカールトンというホテルのホスピタリティを具体的なエピソードをまじえわかりやすく書かれたものでした。エクセレントホテルとして一流たる所以が、ああなるほど…と感心させられた次第です。また、病院とはことなる業界ですが、そこには病院にもつうじる無数のヒントが

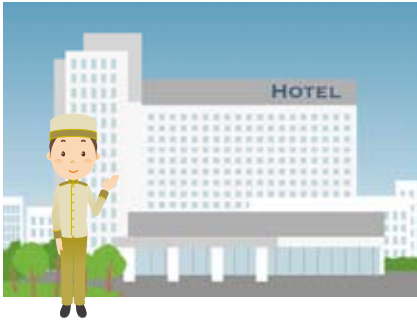
「もてなす人」から「もてなす人」からきており、ホテル、ホスピタル、ホスト、ホステスの言葉のもととなるもので、これらの施設の人々は利用していただく方に喜びを与えることを自己の喜びとすることが原点だからです。海南病院は、基幹病院という性格上、質の高い医療の提供は当然のこととなりますが、そのうえにホスピタリティの心、信頼、誠実、誠、思いやりなどが、今後高度医療をすすめるうえで、ますます大切な要素となるのではないかと考えておりました。

私は、いまも時々読み返す書籍で、ある企業の方から推薦された一冊の本があります。世界的に有名なおもてなしの素晴らしいラグジュアリーホテルとして知られているリッツカールトンの日本支社長として多くの活動をされ、退社後、2010年からは、人とホスピタリティ研究所を設

リッツカールトンの理念などを示すものが、クレドカードという明文化されたものですが、そのモットーとして「We Are Ladies and Gentlemen Serving Ladies and Gentlemen」とあります。従業員は、お客様と同じく紳士淑女であり、同じ目線、同じ感性で働くという意味では、病院のポリ

シーとして、「患者さまと目線をおなじくして…」と合意通じるものがあるのではと感じました。さらに感心したのは、クレドカードのなかには、従業員への約束（エンプロイー・プロミス）が明示されており、充分な職場環境をはぐくむ姿勢がうたがわれております。

ホテルの職員は「自分を忘れ他人のために尽くす『忘己利他』の精神」の理念を共有し、また迅速に行動に移せるよう全職員に一人一日2000ドルまでの決裁権があたえられ、何かあった際には自由裁量で判断できるといふ素晴らしい文化が醸成されています。



また、まず顧客から要望があった際には、「NO」とはいわれないそうです。お客様のためにできることはまず行ってみる行動は実際なかなか難しいものです。私自身、もう15年ほど前になるでしょうか、あのあたりにしたエピソードは今でも鮮明に記憶に残っています。たまたま海外の某国を訪問した際、宿泊先がリッツカールトンホテルでした。そして、どうも近くの部屋に世界的に有名なプロゴルファーが宿泊されていたので、若気のいたりで無理とは思いますが、キャップにサインをお願いできないものだろうか、とホテルマンをお願いしてみました。その方は、やはり「NO」とはいわれなかったのです。トーナメント中ゆえ無理かもしれませんが、チャレンジしてみますと言っていただけでした。結果、数日後やはり無理でしたという申し訳なさそう

に返答いただきましたが、悪いのは、無理な要望をお願いした私のほうであり、にもかかわらず、「NO」といわれなかったプロ意識と理念に基づく行動をまのあたりにして、暖かなホスピタリティに感動すら憶えた次第です。また、私がっかりするだろうと、要望にお応えすることは出来ないままんでしたが、せめてホテルグッズをお土産にどうぞとまで差し込まれ、無理難題を押しつけた一人の顧客にたいしてこれだけのホスピタリティを示されたことにただ驚きとリッツカールトンの神髄を垣間見た想いでした。

話は、若干かわりますが、以前、ある患者さんから、職員の接遇に関してお礼の手紙をいただいたことも忘れられない思い出です。いつもにこやかに接していただき笑顔に癒されますという感謝の手紙でした。そのなかに「和顔愛語」という言

葉がしるされており、私はここでも教えられることが沢山ありました。早速調べてみましたら、仏教の「無財の七施のうち、「和顔施」（穏やかな優しい顔つきで人や物に接すること）と「言辞施」（優しく暖かい言葉をかけること）をあわせてつくられたようです。愛語は愛心より発する、愛心は慈心をもととせりという言葉もありますが、和顔愛語と言わんとすることは、おなじなのでしょう。

おもてなしの心やホスピタリティからいろいろ、話が飛躍したところもありますが、コロナ禍で人と人の繋がりがやや希薄になってしまった現代社会において、思いやりと相手をおもてなす心を、どこか、かたすみで意識して日々の生活ができたらと思う次第です。

本年もどうぞよろしく申し上げます。今回のコラムを閉じさせていただきます。



JA愛知厚生連
海南病院 名誉院長 山本 直人
略歴及び公職一覧

【略歴】

昭和五十四年三月
名古屋大学医学部卒業
昭和五十四年五月
名古屋第一赤十字病院
昭和六三年七月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院
脳神経外科部長
平成十五年四月
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院 病院長

【主要な公職一覧】

(平成三〇年五月現在)
日本脳神経外科学会専門医・指導医
名古屋大学医学部 臨床教授
日本病院会 理事
日本病院会 愛知県支部 副支部長
ほか

デイサービス

まほろば中川



敬老会



今年も9月に敬老会を開くことが出来ました。利用者さんの健康を祝い、日頃の感謝の気持ちを込めて少し豪華なおやつを用意しました。紅白のロールケーキに生クリームやフルーツを飾り美味しくうなやつになり、みなさんあつという間に完食されました。「美味しい!」「たまにはこういう違ったのもいいね」と大変喜んでいただけました。そんな姿を見てスタッフもほっこりとした気持ちになりました。

ハロウィン



今年もまほろば中川ではハロウィンイベントを開催しました。最初に恒例となりましたリアル間違い探しです。仮装したスタッフが登場し、みなさんにその姿を記憶していただきます。そして一旦隠れて一部に変更

を施し再び登場し変更部分を当てていただくというものです。それからは出店風のイベントをハロウィン射的・カボチャ釣りゲーム・ハロウィン目玉すくいと順番にまわって楽しんでいただきました。最後に10月に入ってから練習して頂いたハロウィンダンスで締めくくりです。みなさんの練習の成果が出ていて楽しそうに踊っていました。おやつにはパンプキンプリンを用意したところ「美味しい!楽しかった」と皆さんの笑顔が見られ素敵なイベントになりました。



編み物上手



まほろば中川には編み物がお好きで上手な利用者さんがいらつしゃいます。その方が「孫のようだ」と気にかけてくださっている利用者さんとスタッフに対して素敵なポーチをプレゼントしてくださいました。戴いた利用者さんもスタッフも大変喜んで、笑顔で記念写真を撮影しました。幸せなひと時をありがとうございました。



消防訓練



11月には年に2回春と秋に行っている消防訓練を行いました。初めて消防訓練に参加される利用者さんについて、スタッフの誘導や説明をしつかり聞いて頂き、無事避難訓練を滞りなく行うことが出来ました。そして外に出てからは消火器を使った消火訓練を行い、初めての方もベテランさんも協力して良い消火訓練が出来ました。



デイサービス

まほろば稲西



ハロウィン



ト『目玉投げ』『おばけ射的』『おばけピンポン』を順に楽しんで頂きました。最後は風船にお化けの絵を描いてデイルームの何処かに隠し制限時間内に見つけるゲームです。さすがまほろばの利用者さんは余裕で時間内に探し出すことが出来ました。イベントの終了はいつものように出口社長の挨拶「エイエイオー」でパーティーの終了です。

10月の末には今年もハロウィンパーティーを開催できました。最初はスタッフが仮装してジャンボリーミッキーという曲をバックに踊りながら登場してイベントの景気づけをしました。10月に入ってから体操やレクリエーション中にBGMで流してみなさんに浸透させてきました。みなさんも手拍子で大変盛り上げてくださいました。その後みなさんには3つのイベン



紅葉狩り



歩のおねだりをされてしまいました。今回の紅葉狩りでは終始笑顔が溢れ充実した1日を過ごしていただけたと思います。



ポインセチア



木です。ポインセチアと言えばクリスマス！そこでポインセチアをクリスマスツリーのように大きく作りました。制作工程は、折り紙を4つに折り大・中・小に切り抜きます。3種類を1セットにして45度ずらしながら重ねて、中央に花紙を丸めて貼り付けたら完成です。利用者さんから「色の組み合わせが難しいなあ」「お花紙を丸めるの意外と大変だった」などの声が聞こえてきました。それでも完成したポインセチアの木を見て「綺麗だね」と満足な様子でした。

11月にまほろば稲西の壁飾りが新しくなりました。モチーフはポインセチアですが、普段街で目にする鉢植えではなくポインセチア



新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年春にはコロナ禍から抜け出し、さわやからいふとして社長を中心とした組織がより力強いものになりました。また各部署でもリーダーを中心に組織力が強固なものになりました。今年はさらに飛躍のために人材育成に注力していきたいと考えています。

皆様の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和六年

最高経営責任者 白川 秀二



新年のご挨拶

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナの波から抜け出せ、明るい兆しが見えてまいりました。昨年からスクールを再開しスクールを通してさわやからいふの心を理解した人材育成を行いたい。さわやからいふで働きたいと思ってもらえる職場を整えさわやかブランドを確立出来るように考えています。

どうぞ本年も宜しく願いいたします。

令和六年

代表取締役社長 出口 明美



看板と内容が違いますか

さわやからいふ通信編集 加藤裕之

令和六年また新しい年を無事迎えることができました。

みなさん気分一新して新しい年を迎えられましたか？「今更何言ってるんだ。こちら何回新年を迎えていると思っ

ているんだ」とおしかりを受けそうですね。以前にも書いたことがあります。私は何度経験しても元日は空気が澄んでいて張りつめた感じがし

ます。この季節柄気温の影響もあると思いますが、天候にかかわらず周りの空気が好きです。ただ、これは自分自身で作り出している感覚なの

だろうと思いますが。ふと振り返って見れば高度成長期の頃は空気の汚れ公害に悩まされ

た時代もありました。今では日本中どこも空気が綺麗に

なり、晴れた日は青空が広がり気持ちがいいです。

ところが昨年そんな日本がCOP28の期間中4年連続で化石賞を受賞しました。これ

については私の頭の中には???と疑問が浮かんできます。「そもそも化石賞とは何だろう?」と調べてみたところ「化石賞」とは、環境N

GO(Climate Action Network)が、気候変動対策に対して足を引っ張った国に与える賞のこと。気候変動への取

り組みが「後退している」とを「化石」と表現して皮肉ったものなのだそうです。「受賞すること自体がとても不名誉な

こと」となっていました。そこでどのような国が受賞したのか調べてみたところ「お



や?」と???が浮かびました。それは何かというと世界で一番CO2を排出している

国が受賞していないじゃないですか。晴れているのに青空が見えない国が受賞していな

いことへの疑問というよりこの賞の基準がどうなっているのか疑問です。信頼たるものではないそうです。

こういったことは海外だけでなく国内にも理解できない団体が沢山ありますよね。私

が印象に残っているのは2018年に日本が脱退したIWCという国際捕鯨委員会など

は反捕鯨ありきの団体になっ

と思います。結局真面目にク

ジラの生態を調査していたのは日本くらいなもので日本が

脱退した後は殆ど活動がなく、日本叩きのための団体になつていたのではないかと思います。合理性のない規制を

ただ受け入れるだけでは、今後世界から有ること無いことで圧力をかけられます。政治的手段や金銭目的でしか

ない様に思えます。国内にも公金目当ての団体が雨後の竹の子のように芽を出して溢れています。

このような当初の目的を見失い何らかのイデオロギーに支配される団体が見受けられることも事実です。看板は正

義だが実際の活動は公金目当てであったり本来の意味とかけ離れた団体が少なくないで

す。国の政策でも結果は来しものとは真逆になるのではないだろうかと思えるものを

声高らかに言うことと見ていると腹立たしいです。無駄なことにお金を投入し、増税すること

編集後記

コロナという単語ももう

過去のことにように感じている自分は物忘れが早いなあと感じます。前回ガソリンの高騰について少し書

きました。今回も少し言いたい。言わせてください。高騰したガソリン価格に慣

れるとはどういうこと?それは政治家の裏金にも慣れるということ?こういうこ

とを平気で言える人が面の皮が厚いというのでしょうか。昨年は過去最大の税

収であったにも関わらず聞こえる声は増税・増税って

日本の景気を良くしようという考えはないのでしょうか。これまでも消費税上げる度に景気が落ち込んでいます。日本の経済はこの先

何年失われるのでしょうか。20年30年と私の人生暗



さわやかからいふ

事業所案内



さわやかからいふ本社・中川事業所

- 訪問介護事業 2371000759
- 居宅介護支援事業 2371002177
- デイサービス事業 2371003019
- 介護教育事業 介護職員初任者研修
同行援護従業者養成研修

〒454-0024
 名古屋市市中川区柳島町4丁目16番地
 TEL : 052-364-6001 FAX : 052-364-6005
 デイサービス「まほろば」
 TEL : 052-364-6007 FAX : 052-363-6027



中村事業所

- 住宅型有料老人ホーム
- デイサービス事業 2370503514

住宅型有料老人ホーム「さわやかの家 稲西」
 TEL : 052-414-7704
 デイサービス「まほろば稲西」
 TEL : 052-414-7335
 〒453-0849 名古屋市市中村区稲西町90番地
 FAX : 052-414-7336

ウイズレント

- 福祉用具貸与
- 介護予防福祉用具貸与
- 特定福祉用具販売
- 特定介護予防福祉用具販売 2371003142
- 名古屋市介護保険
住宅改修費受領委任払 7681000058

〒454-0024 名古屋市市中川区柳島町4丁目16番地
 TEL : 052-304-8008 FAX : 052-364-6005



みずほ事業所

- 訪問介護事業 2370800993
- 居宅介護支援事業 2370801231

〒467-0012
 名古屋市瑞穂区豊岡通1丁目25番地
 シャンボール近藤 1F
 TEL : 052-737-6565 FAX : 052-737-6567

さわやかからいふ スタッフ募集

- | | | |
|-------------|-------|-------------|
| ①登録ヘルパー | (パート) | [中川・みずほ事業所] |
| ②介護職員 | (パート) | [中村事業所] |
| ③デイサービススタッフ | (パート) | [中川事業所] |
| ④サービス提供責任者 | (正社員) | [中川・みずほ事業所] |
| ⑤介護支援専門員 | (正社員) | [中川・みずほ事業所] |

詳細や、その他職種の募集につきましては <https://sawayakalife.jp>

または ☎ 0120-976-619 までお尋ねください。

さわやかからいふフェイスブック開設しました。 <https://www.facebook.com/sawayakalife>

発行所/

〒454-0024 名古屋市市中川区柳島町4丁目16番地

発行人/

(株)さわやかからいふ

※ 掲載記事・写真の一部または全部を無断転載することを禁じます。